

補助金評価シート

区分	重点 (重点以外)	補助根拠	法令補助 ・ (その他補助)	開始時期	令和7年4月1日	終期	令和8年3月31日
補助事業名 [下段に制度概要を記載]		生活応援プレミアム付商品券発行事業補助金 物価高に直面している生活者を支援し、消費の支えを行うことを目的に、商業団体が実施するプレミアム付商品券発行事業に対する補助金					
款・項・目		商工費 商業日 商業振興費					
所属等		経済部 商業振興課 商業グループ 電話 025-226-1633					

年度		令和5年度(1年目)		令和6年度(2年目)		令和7年度(1年目)	
予算額等の推移	予算(千円)	0		0		335,000	国 285,000
	決算(千円)	0		0		253,875	国 253,875
補助率						10/10	
目標		物価高に直面している生活者を支援するために、商業団体が実施する事業を支援し、消費の支えに寄与する。 <目標が数値でない場合の評価方法> 実績報告書等で事業の実施状況を総合的に判断し評価する。					
目標に対する達成度(指標)	達成率100%以上						
	達成率 80%以上						
	達成率 50%以上						
	達成率 50%未満						
	目標が非数値化 ※取扱基準に記載した評価手法に基づく達成度について記入してください						1冊の販売金額を抑え、発行部数を増やすことで、より多くの生活者が商品券を購入できるようにした。また、普段の買い物ついでに購入できるように店舗での店頭販売を行うなど、購入者の利便性に配慮した。結果、過去最多の発行部数60万冊を完売した。数量に限りのある中で、最大限の支援を実施できたものと考え。
補助事業者による情報の公表		協同組合NICE新潟のホームページなどで公表					

評価欄	チェック	a. 補助対象経費は事業の直接経費となっているか	○	e. 指標の推移が維持・向上しているか	○
		b. 補助率は1/2以内か	×	f. 補助事業者による情報の公表は適正に行われているか	○
		c. 補助額が5万円以上になっているか	○	g. 目標は数値化されているか	×
		d. 収入が過剰になっていないか(繰越金が生じていないか)	○	h. 目標は補助金の成果を検証しやすい設定か	○
×になった項目に対する今後の取組	<a～fにおける取組> 臨時交付金を活用した物価高騰による生活者支援としての取り組みであり、事業者も物価高騰の影響を受ける中、事業者負担を増やすことも困難であったため、補助率が1/2を超える状況はやむなしと考える。				
	<g～hにおける取組> 生活者支援の効果測定については一様ではないものの、目的に沿った定量的検証が可能な方法を考えていく必要がある。				
目標未達成の原因分析		<期間(3年)を通して目標達成率80%未満の場合、なぜ達成できなかったか>			
① 拡充・改善 (補助率、補助額、補助対象経費、その他) ② 継続 ③ 廃止					
①～③の評価理由 ※目標未達成の原因分析に該当の場合はその要因を踏まえて今後どうするのかを記載すること 本事業は物価高騰に係る対策として緊急的に取り組んだもの。今後については、経済の状況を見つつ、個別に判断する。					